

# 群馬県市町村会館管理組合行政不服審査会条例

平成28年2月22日  
条例第4号

## (趣旨)

**第1条** この条例は、行政不服審査法（平成26年法律68号）第81条第2項の規定により設置する群馬県市町村会館管理組合行政不服審査会（以下「審査会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

## (設置)

**第2条** 審査請求があったときは、管理者は、その都度、審査会を設置するものとする。

## (組織)

**第3条** 審査会は、委員3人をもって組織する。

## (委員)

**第4条** 委員は、非常勤とし、審査会の権限に属する事項に関し公正な判断をすることができ、かつ、法律又は行政に関して優れた識見を有する者のうちから、管理者が委嘱する。

2 委員は、管理者により、心身の故障のために職務の執行ができないと認められた場合又は職務上の義務違反その他委員たるに適しない非行があると認められた場合を除いては、在任中、その意に反して罷免されることがない。

3 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

4 委員は、在任中、政党その他の政治的団体の役員となり、又は積極的に政治運動をしてはならない。

## (会長)

**第5条** 審査会に、会長を置き、委員の互選により選任する。

2 会長は、会務を総理し、審査会を代表する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

## (専門委員)

**第6条** 審査会に、専門の事項を調査審議するため必要があるときは、専門委員を置くことができる。

2 専門委員は、学識経験のある者のうちから、管理者が委嘱する。

3 専門委員は、当該専門の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

4 専門委員は、非常勤とする。

5 第4条第3項の規定は、専門委員について準用する。

## (会議)

**第7条** 審査会は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

2 審査会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 審査会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員又は専門委員は、自己の利害に関係する議事に参与することができない。

## (委任)

**第8条** この条例に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

**(罰則)**

**第9条** 第4条第3項（第6条第5項において準用する場合を含む。）の規定に違反して秘密を漏らした者は、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する。

**附 則**

この条例は、行政不服審査法の施行の日から施行する。